



特別  
企画

## 区長とジュニア記者の座談会

昨年11月に滝口区長が就任しました。区のリーダーとして、よりよい荒川区になるように、仕組みやルールを作ったり、地域活動の応援や課題の解決をしたりなど、いろいろなことに日々取り組んでいます。今回は、そんな滝口区長を、区内の小学生を代表して6年生のジュニア記者たち8人が訪問。直接会っていろいろなお話をしました。

[問合せ] 広報課 ☎内線2138



ほん  
本をたくさん  
よ  
読める街だよ

あそ  
遊べる場所が  
ばしょ  
増えるといいな

だいす  
大好きなお祭りで  
まつ  
人がつながっているよ

ひと  
いろんな人と  
こうりゆう  
交流したい!

こころ  
心に響く音楽を  
ひび  
つくりたいな

あんしん  
ずっと安心して  
暮らしたいな

ちい  
地域の  
つながりが  
つよ  
強いよね

しょうてんがい  
商店街が  
ある  
多くて歩くのが  
たの  
楽しいよ



# 区長と話そう! 私たちが思う荒川区

滝口区長とジュニア記者たちの特別対談が、区長応接室で行われました。初めは緊張していたジュニア記者たちですが、親しみやすい滝口区長と話すごうちに打ち解けてきたようです。どんなお話が出たのでしょうか。



## あらかわく 荒川区のここが自慢!

**司会** こんにちは。まず、みなさんに質問する前に、滝口区長はどんな小学生だったのか聞いてみましょう。

**区長** 小学生の時は背が小さくて、背の順ではずっと前でした。足が速くていつもリレーの選手に選ばれていたよ。走り回るのが大好きで、缶蹴りでよく遊んでいましたね。

**司会** ありがとうございます。では、みなさん、荒川区の好きなところや自慢できることを教えてください。

**後藤さん** ジョイフル三の輪など、昔ながらのお店が並ぶ商店街があるところです。「読書を楽しむまち・あらかわ」宣言にあるとおり、「ゆいの森」などの読書を楽しめる環境が整っているところも好きです。

**石川さん** お祭りが多いところです。毎年、友達と見に行ったり、お神輿を担いだりしています。

**谷藤さん** 地域のつながりが強くて、みんなで



伝えたいことがいっぱい、みんなで手を挙げます



滝口 学区長

仲良く協力して暮らしているところです。あと、「味覚の穴場」に荒川区が選ばれたことも自慢で、おいしいものが多いです。

**区長** そう、世界10都市の中に選ばれたね。もんじゃ焼きのような庶民的な食文化があるのも荒川区の特徴だよな。

## がっこうの楽しいところとは?

**司会** 学校の楽しいところを教えてください。

**山田さん** 音楽会や学習発表会など、行事がたくさんあるところです。音楽会は、自分の好きな楽器を練習して本番で演奏します。

**小林さん** 先生や友達と関わり合えるところです。友達とたくさん話したり、先生に教えてもらったりして、「君は一人じゃないよ!」と言われているような気がしてホッとします。

**区長** 学校が楽しいことはいいことだね。学校には、自分と合う友達ばかりいるわけではないかもしれないけど、お互いにわかり合おうとすることが大事だね。

## いまがんばり 今頑張っていることと 将来の夢は?

**司会** 今度は、みなさんが頑張っていることと将来の夢について教えてください。

**安藤さん** 読書が好きで、学校の図書委員会の活動を頑張っています。将来なりたい職業は保育士です。いとこや兄弟がみんな年下で、小さい子が好きだからです。

**小川さん** 今、頑張っているのは俳句です。以前、大会で入賞できたのが嬉しかったので、また賞を取りたいです。将来の夢は歌手で、

みんなの心に響くような音楽をつくりたいです。そのために国語や音楽の授業も一生懸命頑張っています。国語は俳句も勉強するので楽しいです。

**神谷さん** スポーツが好きなので、将来はスポーツ選手を支える仕事に就きたいです。頑張っているのは学校のマーチング活動で、ホルネットを吹いています。人前で自信を持って発表できるように練習しています。

**区長** 夢があるのはとても素敵なことだね。私は人前で話すことが苦手な子どもでした。でも目標を持って、多くの経験をする中で、できることが増えて人は変わっていきよ。



意見をしっかりと聞してくれる滝口区長と司会の渡邊校長

## あらかわく 荒川区に 期待することは?

**司会** 荒川区や滝口区長に期待することはありますか。

**安藤さん** 街の人とのコミュニティをこれからも大切にしてもらいたいと思います。

**区長** そう思ってくれるのはうれしいな。荒川区の良さのひとつがコミュニティだよな。

**小川さん** ああ……。滝口区長の特別授業を開いてほしいです!

**区長** いいですね。どんな授業をしようかな。

**谷藤さん** 街にごみ箱を増やしてほしいです。

**区長** ごみ箱を置くご家庭のごみを出す人もいるから、ルールを守ってもらわないといけないよね。どうしたらみんなが快適に過ごせる街を作れるか考えたいと思います。

**神谷さん** 近所の人と交流したり、初めて会ったご年配の人とも気軽に話せる雰囲気が続くといいなと思います。

**区長** 下町らしい文化だよな。そういう雰囲気も大切にしていきたいと思っています。

**後藤さん** 区内は今も自然が多いけれど、もっと自然豊かな街になってほしいです。

**区長** 緑に囲まれると気持ちが落ち着くよね。もっと緑を増やせるよう頑張ります。荒川区は全国にさまざまな交流都市があるから、そこで自然体験できる機会も作っているんだよ。

**石川さん** お祭りは地域の人たちと交流できるすごくいい機会なので守り続けてください。

**区長** お祭りを通じて世代がつながるよね。私のスローガンは「世代をつなぎ、地域をつなぎ、みんなの力をつなぐ」です。そんなふうにお祭りもつないでいきたいと思います。

**小林さん** 小さい子が遊べるスペースは増えているけど、私たち小学生がもっと体を動かせる場所もほしいです。

**区長** 「遊びは子どもの栄養素」といわれるくらい、遊ぶことは勉強と同じくらい大事なんだ。だから、どんな子も思いきり遊べる環境を整備したいと考えています。たとえば、障がいのある子も遊びやすい「インクルーシブ遊具」を置いた公園も少しずつ増えているよ。

**山田さん** 安心して暮らせる街にしてほしいです。災害が起きても安心して避難所で生活できるようにしてほしいです。

**区長** 安心は重要だね。災害はいつ起こるか



緊張の中始まった滝口区長との座談会も終わり、みんなでパチリ!

わからないから、「自助、共助、公助」という、まず自分の身を守り、町会や地域で助け合い、最後は区がしっかり守るという考え方を大切に災害対策をしています。

## 滝口区長からみんなに 伝えたいことは?

**司会** 最後に、ジュニア記者とあらかわ区報ジュニアを読んでいるみなさんにメッセージをお願いします。

**区長** 今日はみなさんの率直な気持ちを聞かせてくれてありがとうございました。目標に向かって一生懸命頑張ることはとても大事なことで、何事にも全力で打ち込んでください。また、みなさんには荒川区に愛着と誇りを持ってほしいので、これからどんどん区の

魅力を発信していきます。ぜひ、注目してね。みなさんと一緒に住みやすい街にしていきたいと思っているのでどうぞよろしくお願いします。

**司会** 滝口区長、みなさん、ありがとうございました。ジュニア記者一同 ありがとうございました。



滝口区長の話を熱心に聞くジュニア記者たち



谷藤沙樹さん 小川凜太郎さん

尾久小学校



小林瀬奈さん 神谷草瑚さん

第二日暮里小学校



司会の瑞光小学校 渡邊 滋校長



山田莉穂さん 後藤一輝さん

瑞光小学校



石川杏奈さん 安藤まおみさん

峡田小学校





# 荒川区中がりのデフリンピック 出場選手を応援しよう!

Q1 競技をはじめたきっかけはなんですか?

Q2 選手になって苦労したことは?

Q3 代表選手になった意気込みを!

Q4 区内の小・中学生に一言!

## 山田瑞恵選手 (卓球)



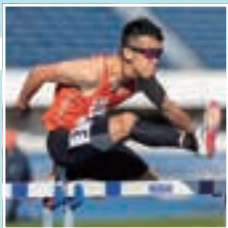
**A1** 小さい頃は水泳とダンスをやっていたのですが、中学に水泳部がなくて…。母と姉が卓球をやっていたので、私もやってみようかなって軽い気持ちで始めました。

**A2** 試合や練習で全く点が入らないとすぐに落ち込んでいました。でも今はそれを笑顔に変えて、成長につなげられるようになりました。

**A3** 支えてくれたすべての人に感謝を込めて、自分のプレーで恩返しできるよう頑張ります!

**A4** スポーツは、できる・できないよりも、楽しむ気持ちが一番大切だと思います。

## 高田裕士選手 (陸上・ハードル)



**A1** 高校まで野球をしていましたが、肩を怪我してしまい、大学から陸上を始めました。当時は200m・400mでした。

2012年に初めて出た400mハードルの競技会で好成績を残したことから適性を感じ、400m・400mハードル専門となりました。

**A2** 専用の練習施設がないところです。競技場が使えない場合は道路や坂、階段などのできる範囲で工夫して練習をしています。

**A3** 荒川区出身なので、東京開催がとても嬉しいです。家族、友人、これまでお世話になった方々に感謝の気持ちを伝えられるように精一杯努力して大会に臨みます。

**A4** 興味があればとりあえずやってみる。失敗を恐れず、積極的にチャレンジすることを大事にしてほしいです。応援しています!

## 翁孝嘉選手 (ハンドボール)



**A1** 約2年前、友人に誘われたことがきっかけです。それまで20年間ずっと野球を続けてきました。そこで身につけた投げる力や走る力が、ハンドボールの動きとよく似ていて、「これは面白い!」と感じました。

**A2** 健常者のチームはプレー中に声を出して連携をとるのに対して、私たち聴覚に障がいのある選手は手話や身ぶりでコミュニケーションをとります。その伝達のスピードに差を感じ、とても苦労しました。

**A3** 「メダル獲得」というはっきりとした目標に向かって、自分の強みであるフィジカル(体の強さ)、体力、走力をすべて出し切り、チームの勝利に貢献します。

**A4** 「楽しむこと」が一番大切だと思います。みなさんも、自分の「好き!」という気持ちを大切に、全力で取り組んでみてください。

**デフリンピック開催期間**  
2025年  
11月15日(土)~26日(水)

## デフリンピック豆知識

デフリンピックは「国際的な耳が聞こえない・聞こえにくい人のためのオリンピック」です。「デフ」とは英語で「耳が聞こえない」という意味です。

## Close-up



## 子ども議会を開催しました

8月26日、区役所5階の議場で、「子ども議会」を開催しました。

「子ども議会」は、子どもの意見を区の施策に反映させ、子どもたちが安心して暮らせるまちづくりの推進を目的に開催しています。

区立中学校10校の生徒20人が「子ども議員」に選出され、地域のさまざまな課題などについて、区へ提案を行いました。



子ども議会の様子

## あらかわ今昔ものがたり



## 千住宿の商売 ~400年続く街並み~

【問合せ】荒川ふるさと文化館  
☎(3807)9234

**甲冑が脱げない** 天明7年(1787)5月22日、今の南千住、当時の千住小塚原町のとあるお店にお客の人が押しかけた。買い物じゃないよ。お店を壊しちゃおうという人たちだ。その内の一人が甲冑が置いてあることに気づき、ふざけて甲冑を着て店を壊したんだって。が、いざ脱ごうとしてもこの甲冑がなかなか脱げない。一緒に店を壊してた人や見物人たちの笑い者になったんだってさ。

**天明の江戸打ちこわし** これは天明の江戸打ちこわしの中で起こった事件。ん? あ、そうなんだ、大河ドラマでやったんだ。じゃあ知ってるかもしれないけど、この事件の数年前から、全国的に不作が続いてお米が不足した。だからお米の値段が上がって、物価も上がった。幕府の対策もよい効果が出ない。困っている人への施しも行われない。それで起こったのが天明の江戸打ちこわしなんだよ。米屋が不当にもうけている、お金持ちが救済をしない、という理由でこれらの店が壊されたんだって。江戸中で。

**千住小塚原町のお店** でも何でその店に甲冑なんかあったんだろう? 勿論甲冑屋さんじゃないよ。いらないうね。甲冑。

実はこの店はお金を貸すのが商売だったんだ。

参勤交代の時にお金が足りなくなった大名にお金を貸したのかも。お金が返ってこなかった時の保証に甲冑を預かっていたんじゃないかな。

千住宿には、参勤交代をする大名や松尾芭蕉のような旅人を相手にする商売と、周りの村に住む人向けのお店が立ち並んでいたんだ。たとえば、さっきのお金貸し。他にも旅籠屋、駕籠屋、薬屋、八百屋、鰻屋、蜷屋…千住宿は今でいう商店街だったんだよ。

**江戸時代から続く街並み** 千住宿があったのは今のコソ通り。だからここは400年近く街並みが続いている場所なんだよ。残念ながら江戸時代から続くお店はなくなってしまったけれど、眼鏡屋さんとか提灯屋さんとか、100年前からお仕事を続けているお店もある。なんだかすごいね。



「東京名所三十六戯」小塚原(荒川ふるさと文化館蔵)

【お知らせ】荒川ふるさと文化館企画展「千住宿」  
期間:11月30日(日)まで